

高麗神社のおはなし

1. 高麗神社

- ・所在地： 〒340-1243
埼玉県日高市新堀833
- ・主祭神： こまのこしきやっこつ 高麗王 若光 (主祭神)
さると ひこのみこと 猿田 彦命
たけのつち すくねのみこと 武内 宿祢命
- ・社格等： 県社
- ・別名： 出世明神
- ・例祭： 10月19日

＜年中行事＞		＜祈願＞
元旦祭 …	1月1日	出世開運
祈年祭 …	2月23日	家内安全
桜祭 …	4月 第2日曜日 (獅子舞)	商売繁昌
建郡記念祭 …	5月16日	合格祈願
例大祭 …	10月19日	交通安全
菊花祭 …	11月3日	お宮参り
大祓 …	12月31日	七・五・三参り
		厄除祈願
		方位除け

- * 高麗郡建郡 1300年記念事業
 - ・渡来人の里講演会
 - ・高麗神社に伝わる文化財展
 - ・雅楽奉納演奏会

霊亀2年(716年)武蔵国に高麗郡が置られました。(『続日本記』より)
平成28年(2016年)は、高麗郡建郡より1300年になります。

2. 高麗神社の創建

高句麗からの渡来人高麗王若光を祀る神社です。高い文化を日本にもたらし、武蔵の地を開拓し、郡民を愛した若光。その精神が今もここに息づいています。

若光の渡来は『日本書紀』により、天智天皇5年(666年)10月と考えられます。高句麗使節の中に「若光」の名が記述され、高麗王若光と推測できるからです。

次に若光の名が文献に表れるのが『続日本記』大宝3年(703年)3月「位階：従五位下の高麗の若光こしき かばねに王の姓を賜う」と記述されています。姓とは家柄を定めるために大和朝廷が授与する称号で、王の姓は外国の王族の出身者に与えられたものでした。王姓を賜ったのは若光が高句麗の王族であり優れた人物であったため、後には郡の長を任されるに至ったものと思われます。

『続日本記』巻第七に、霊亀2年(716年)5月、大和朝廷は駿河(静岡)、甲斐(山梨)、相模(神奈川)、上総・下総(千葉)、常陸(茨城)、下野(栃木)の七国から高句麗人 1799人を武蔵国に移し、「高麗郡」を創設したと記されています。この時、若光は郡の長官に任命されたと伝えられています。

若光は郡内の高麗人をよく指揮し、未開発の地を開発し、この地で波瀾の生涯を終えました。郡民はその徳を偲び、その霊を祀り、高麗郡の守護神としました。これが高麗神社の創建の由来です。代々若光の子孫が宮司を務め、現在で六十代目となります。

若光は晩年白鬚を垂れ、白鬚様と親しみ尊ばれていたため、高麗神社は「白鬚明神」ともいわれていました。また、近年は「出世明神・開運の神」としても崇敬を集めています。

- ・渡来人…おもに朝鮮・中国から日本に移り住んだ人々のこと。また、その子孫をいう。
- ・位階…官使における個人の地位を表す序列・等級である。また、国家に対して勲功・功績のあった者に授与された栄典の一つ。

3. 高麗(高句麗)の建国・滅亡

高句麗は紀元前1世紀、中国の東北地方に興り、朝鮮半島の大半を有して平壤に都し、中国文化を取り入れた強大な先進国でした。しかし、建国から七百余年、天智天皇の7年(668年)唐と新羅によって亡ぼされました。

我が国とは古くから盛んに往来があり、文化や産業の上に大きな貢献があったことが日本書紀などに記されています。

4. 高麗王若光の渡来

日本では、律令国家形成期となる七世紀半ば、高句麗は最後の強盛期を迎えていました。

しかし、大国唐と新羅が手を結び、百済は滅亡。高句麗も危機を迎えます。

そんな666年、国家の命運を託された高句麗使節が大和へ遣わされました。

若き日の若光もまた、その一員でした。

既に東アジアの強国としての地位を築いていた高句麗は、中国に勃興する大国の侵略から半島を守る防衛壁でもありました。610年、隋の皇帝楊帝は高句麗征討を宣言し、三度にわたる遠征を試みました。しかし高句麗は將軍乙支文徳らの活躍で隋軍の猛攻を阻み、隋はこの遠征の損害が一因となり滅亡しました。

続いて中国を統一した唐も、642年、高句麗国内で泉蓋蘇文の起こしたクーデターを機に、三度にわたる高句麗遠征を行いました。いずれも高句麗の堅い守りに阻まれます。隣国百済が唐・新羅連合軍に滅ぼされた翌年661年も、再び高句麗を襲います。しかし高句麗は盤石の守りで、またもこれを防衛。高句麗は権力者泉蓋蘇文のもと、一時的な安定を得ました。そして、これが最後の強盛期となりました。

665年、泉蓋蘇文が死去。その後継を巡り長子男生とその弟男建・男産とが対立し、国を巻き込んだ権力闘争へと発展しました。敗れた男生は666年、唐に救援を求めます。ついに高句麗の盤石の結末に亀裂が生じました。

国家危急のこの年、5月と10月に高句麗から大和朝廷に向けて外交使節が派遣されました。『日本書紀』には10月に来朝した使節の中に「若光」と称する人物を載せています。しかし、激動する東アジアの情勢を背景に、国家の危急を知らせるため渡日した若光は、二度と故国の土を踏むことはありませんでした。

667年、新羅とともに高句麗征討を宣言した唐はすかさず遠征を開始。翌668年、ついに首都平壤が陥落。建国から約700年間東アジアに強盛を誇った高句麗が、こうして滅亡したのです。

高句麗の滅亡と前後して多くの高句麗人が海を越えて来日しました。彼らは新しい安住の地を求め列島各地に定住しました。激変する東アジアの中で新たな国家体制を模索していた日本にとって、朝鮮半島から進んだ技術や豊富な知識を伝えてくれる渡来人は貴重な存在で、多くの高句麗人、百済人、新羅人が登用され各分野で力を尽くしました。若光は朝廷から従五位下の位を与えられ、文武天皇大宝3年(703年)には「王」の姓を授かり、しばらくの間は大和朝廷の官人として仕えていたと思われます。

渡来から半世紀を経た天正天皇霊龜2年(716年)、東国七国に住む高句麗人1799名が武蔵国に移住し、新たに高麗郡が置かれました。この時、若光は初代の郡の長として草深い武蔵野の一面に赴任したのです。

・高麗郡の範囲

近世以前の郡の範囲については時代による変遷もあり、明確には言い難いが、明治初年の郡制によれば、高麗神社の鎮座する日高市(全域)、飯能市(旧吾野村を除く全域)、入間市(大字仏子・野田)、狭山市(大字根岸・笹井・上広瀬・下広瀬・柏原)、鶴ヶ島市(全域)、川越市(大字笠幡・的場・安比奈新田・鯨井・下戸・小堤・下小坂・平塚・平塚新田・吉田・天沼新田・下広谷)であった。しかし明治29年(1896年)入間郡と合併したため、その名は廃された。

(参考) 日本語表記、漢字とハングル表記、ハングル表記の例

・高麗郡の範囲

近世以前の郡の範囲については時代による変遷もあり、明確には言い難いが、明治初年の郡制によれば、高麗神社の鎮座する日高市(全域)、飯能市(旧吾野村を除く全域)、入間市(大字仏子・野田)、狭山市(大字根岸・笹井・上広瀬・下広瀬・柏原)、鶴ヶ島市(全域)、川越市(大字笠幡・的場・安比奈新田・鯨井・下戸・小堤・下小坂・平塚・平塚新田・吉田・天沼新田・下広谷)であった。

しかし明治29年(1897年)入間郡と合併したため、その名は廃された。

・高麗郡의 範圍

近世以前の郡の範圍는 時代에 變遷이 있었기에 明確하게 어렵지만 明治初年の郡制에 의하면 高麗神社가 있는 日高市の 全域과 飯能市の 舊吾野村을 除外한 全地域、入間市の 大字佛子, 野田, 狭山市의 大字根岸, 笹井, 上廣瀨, 下廣瀨, 柏原, 鶴ヶ島市の 全地域, 川越市の 大字笠幡, 的場, 安比奈新田, 鯨井, 下戸, 小堤, 下小坂, 平塚, 平塚新田, 吉田, 天沼新田, 下廣谷等の 地域이었다.

그러나, 明治29年(1897年)入間郡과 合併하는 關係로 그 이름이 廢止 되었다.

・고마군의 범위

근세 이전의 군의 범위는 시대에 변천이 있었기에 명확하게 어렵지만 메이지 초년의 군제에 의하면 고마신사가 있는 히다카시의 전역과 한노시의 구고노무라를 제외한 전지역, 이루마시의 오오아자 부시, 노다, 사야마시의 오오아자 내기시, 사사이, 가미히로세, 시모히로세, 가시와바라, 츠루가시마시의 전지역, 가와고에시의 오오아자 가사하타, 마토바, 아히나신덴, 구지라이, 시모도, 고즈츠미, 시모오사카, 히라츠가, 히라츠카신덴, 요시다, 아마누마신덴, 시모히로야 등의 지역이었다.

그러나, 메이지 29년(1897년) 이루마군과 합병하는 관계로 그 이름이 폐지 되었다.

(参考) 日本語のとハングル表記 例

子音 母音	o	ㄱ	ㅅ	ㄷ	ㄴ	ㅎ	ㅁ	ㅇ	ㄹ		ㅈ	ㅂ
	-	k(g)	s	t(d)	n	h	m	-	r(l)		z	p(b)
ㅏ a	아 아	가/카 가(가)	사 사	다/타 타(다)	나 나	하 하	마 마	야 야	라 라	와 wa	자 자	바/파 바(바)
ㅣ i	이 이	기/키 기(기)	시 시	지/치 치(지)	니 니	히 히	미 미		리 리	위 wo	지 지	비/피 비(비)
ㅜ u	우 우	구/쿠 구(구)	스 스	쓰·츠 쓰	누 누	후 후	무 무	유 유	루 루	ㄴ n	즈 (즈·づ)	부/푸 부(부)
ㅑ e	에 에	계/케 계(계)	세 세	테/테 테(테)	네 네	헤 헤	메 메		레 레		제 제	베/페 베(베)
ㅓ o	오 오	코/코 코(코)	소 소	도/토 도(도)	노 노	호 호	모 모	요 요	로 로		조 조	보/포 보(보)